

関東夏ロボコン2019

競技フィールド/オブジェクト図面

目次

1. フィールド図面
 - 1.1. フィールド全体図面
 - 1.1.1. ゾーン・エリア説明
 - 1.1.2. 等角投影図
 - 1.1.3. 平面図
2. オブジェクト図
 - 2.1. 盗聴器

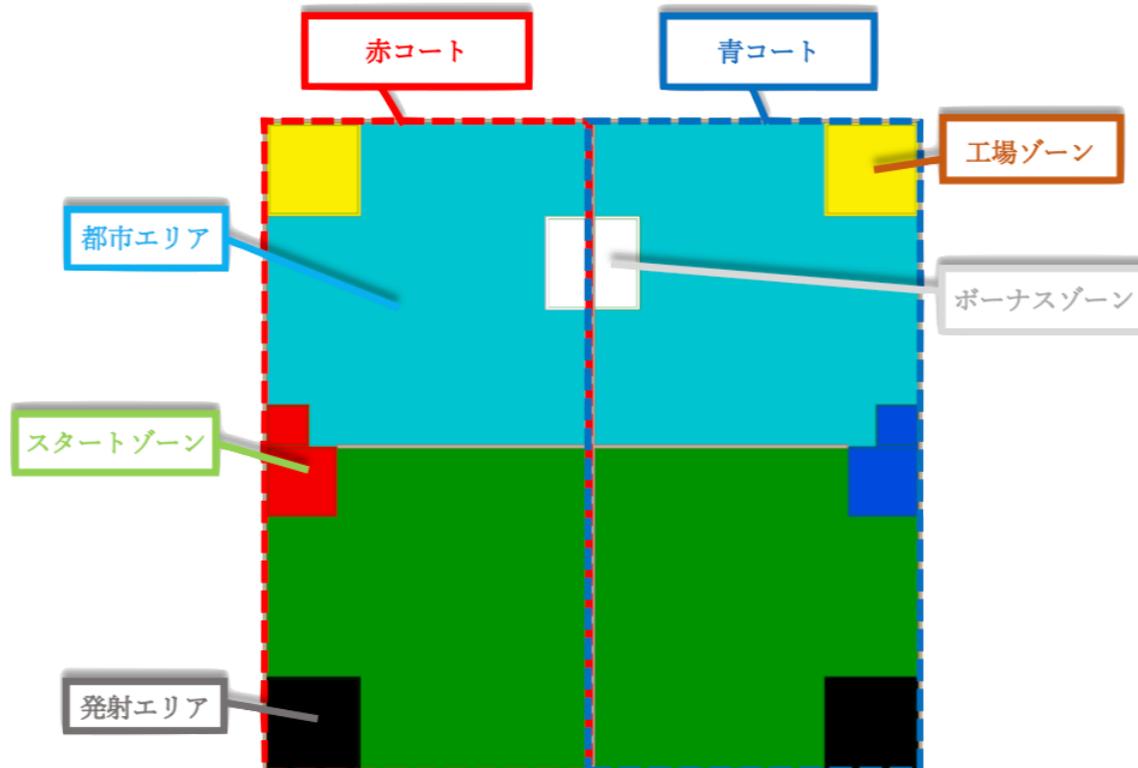
-
- ◆ 開催日：後日ホームページ上で発表（2019年9月上旬を予定）
 - ◆ 開催場所：後日ホームページ上で発表（都内を予定）
 - ◆ 大会公式ホームページ：<https://kantouharurobo.com/natu>

2019年5月1日

1. フィールド図面

1.1 フィールド全体図面

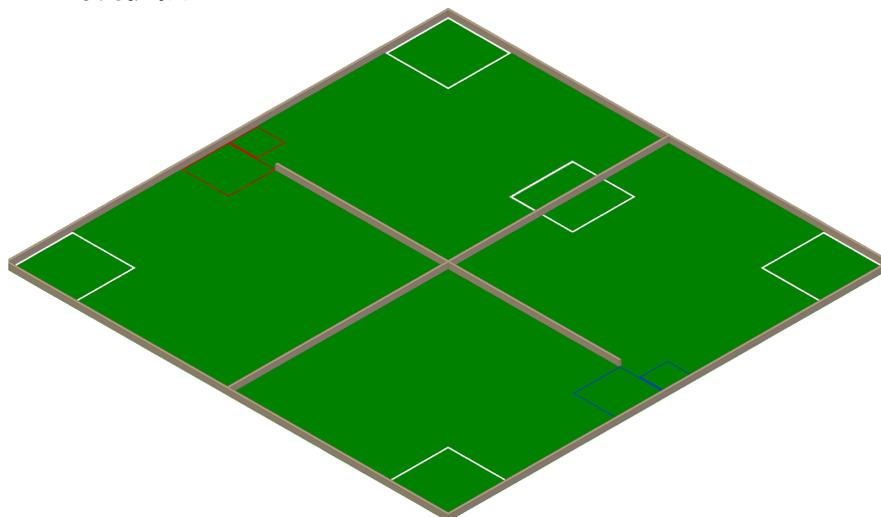
1.1.1 ゾーン・エリア説明



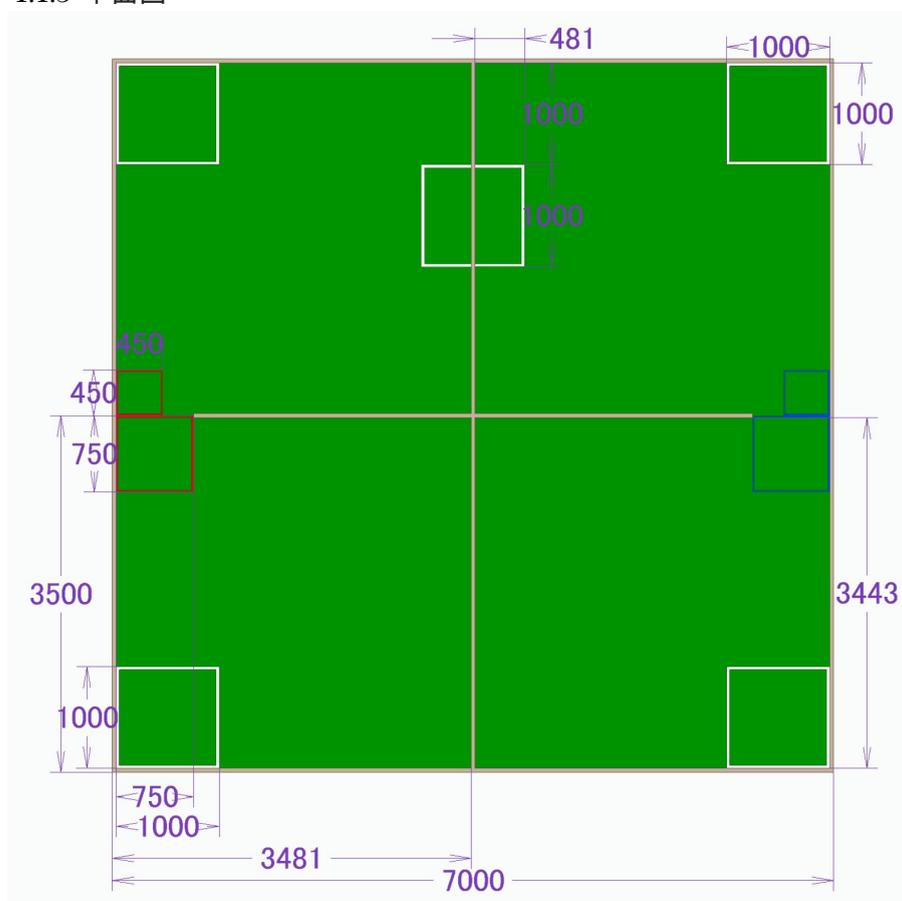
※ 上図の色分けは、エリア・ゾーンの説明のための便宜上の色分けであり、競技フィールドの床面が実際に上図のように色分けされるわけではありません。実際の色は別途「競技フィールド/オブジェクト図面」を参照してください。

ゾーン名	説明
スタートゾーン	3038 mm × 1000 mm の長方形です。周囲には各チームの色の、幅 19 mm のビニールテープが貼られます。ビニールテープ上はスタートゾーンに含まれます。
「都市エリア」	公安ロボットのみが接地できる場所です。「ボーナスゾーン」と「工場ゾーン」を含みます。
「工場ゾーン」	一辺 1000 mm の正方形です。周囲には白色の幅 30 mm のラインテープが張られます。ラインテープ上は工場エリアに含まれます。
「ボーナスゾーン」	1000 mm × 481 mm の長方形です。
「発射エリア」	一辺 1000 mm の正方形です。スパイロボットが「盗聴器」を発射する時に接地する必要があるエリアです。

1.1.2 等角投影図



1.1.3 平面図



- ※ 図上で細い茶色で示された部分には、幅 38 mm、高さ 89 mm の木枠が配置されます。枠はあまり強く固定できないため、強い力をかけないようにしてください。
- ※ ロンリウムはロンシール株式会社のカラーコード 3119 のものを使用します。
- ※ 白線の幅は全て30mmです。白線には「中川ケミカル カuttingシート CS711」を用います。白線が交わる部分など、シートが重なる部分があります。

2. オブジェクト図

2.1 盗聴器



盗聴器として、全長約 26 cm のスリッパが使われます。
大会では、LIVING SLIPPERS CY-SL002Z を使用する予定です。

なお、入手性等の観点から使用する型番を変更する可能性があります。
この場合、各チームに連絡の上、本資料を更新します。